

ふるさと学習・地域学

先月の14日(木)、春季遠足がありました。今回の遠足は、萬歳地区を1日かけて徒歩で巡るコースでした。次に示したのが、遠足の行程です。

学校→長福寺→八体地蔵→学校(休憩)→長樂寺→中山八幡神社→越山城址(弁当)→清水(出口)の井→萬歳の泉→学校

「八体地蔵」は、大きな一枚岩に、上に1体、下に7体の地蔵像が彫ってあり、灸のつぼを伝えた旅僧が一夜で彫刻したと伝えられています。また、萬歳の地名の由来とされる「萬歳の泉」は、平安時代に宇多天皇が来られ、泉に感嘆されて『万歳』と叫ばれたと伝えられています。子どもたちは、改めて萬歳地区の豊かな自然、奥深い歴史や文化を感じたようでした。

新見市では、将来の新見市を担う人材の育成をめざすために、昨年度から「新見市ふるさとキャリア教育推進事業」の一環として「新見ふるさと発見のびのび体験事業」を展開しています。これは、新見市の自然や産業、文化、歴史、地域人材等を生かした豊かな体験活動を通して、ふるさと学習、地域学を推進し、地域の子どもは地域が育てるという考えのもと、将来、新見市の中で活躍することができる人材の育成を図るものです。

今回の遠足は、この「ふるさと学習・地域学」の内容を十分含んでいたと言えるでしょう。

【萬歳の泉にて各クラス写真】



【越山城址にて集合写真】



【1・2年生】



【3・4年生】



【5・6年生】

当日は天候に恵まれ、初夏を思わせるような汗ばむ陽気となり、低学年の体力が心配されたのですが、1年生の2名は、元気にゴールの学校まで歩くことができました。

最後になりましたが、今回の遠足に対しまして、企画、行き先の草刈り、当日のサポートをしていただいた、長江俊忠さん、赤木実さん、田中匡志さん、鈴江栄さん、吉尾勇市さん、長江勝美さん、本当にありがとうございました。